



2008年7月14日

VOL. 20

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

FOOD TAIPEI 2008 出展結果報告

県内企業9社が台湾食品市場へチャレンジ！

平成20年6月18日（水）～21日（土）、台湾・台北市で開催した国際食品見本市「FOOD TAIPEI 2008」に鳥取県内企業9社が出展し、台湾食品市場への売り込みを図りました。当財団が本展示会に出展するのは3年目で、県内企業9社のうち8社は当財団ブースで、1社は独自で出展。今年は27カ国・地域（台湾を除く）が参加し、4日間で50,215人の来場者がありました。

<当財団出展の概要>

企業名	主な出展商品
(有)あぶい蒲鉾（琴浦町）	魚肉練り製品
(有)AONケミカル（鳥取市）	二十世紀梨加工品 ほか
(株)越河（米子市）	冷凍水産加工食品
(株)澤井珈琲（境港市）	レギュラー珈琲、機能性珈琲 ほか
千代むすび酒造(株)（境港市）	日本酒、焼酎、リキュール
中井酒造(株)（倉吉市）	日本酒（有機栽培米使用）
(株)ヤスオカ（鳥取市）	ナチュラルミネラルウォーター
(有)ルウ研究所（米子市）	コラーゲン

今回の展示会出展においては、事前に当財団職員らが現地でバイヤーにPRを行ったり、台湾コーディネーターの協力により関係先へDMを送付してもらう等、念入りな事前準備が功を奏し、各企業とも内容の濃い商談を行うことができました。

また、海外の展示会では初の試みとなったブースの特別装飾も、出展企業をはじめ多くの来場者や主催者からも高い評価を得ることができ、その結果、鳥取県の企業が一体となって販路開拓に取り組み、相乗効果を生むなど、全体としてのモチベーションを高く保つことができました。

出展企業からは、「具体的な商談ができ満足」、「出展を重ね、ターゲットを絞ったり、製品のラインナップを増やしたり、積極的に売り込むことができるようになった」などの声をいただき、開催期間中成約に至った商談も3件ありました。

当財団では、今後も企業の皆様のご要望をもとに、海外での展示会出展を企画しご案内いたします。



当財団ブースの様子（安心安全がキーワード）



会場の様子（高品質な日本食は大人気）

目次

FOOD TAIPEI 2008 出展結果報告	P 1
現地発！ 台湾月刊レポート⑬	P 2
最新の上海 ～現地レポート～④	P 3 P 4
中国長春からの便り	P 4
中国・台湾食品市場 セミナーのご案内	P 5

世界の祝日～8月～

- 韓国 15日 解放記念日（光復節）
- シンガポール 9日 独立記念日
- インドネシア 18日 独立記念日
（17日の振替休日）
- タイ 12日 王妃誕生日
- フィリピン 18日 ニ/イ/キ/記念日
25日 英雄記念日
- マレーシア 31日 独立記念日

出所：ジェット通商弘報
「世界の祝祭日2008年版」から

現地発！台湾月刊レポート⑬

「台湾武力艦隊 VS 日本武力艦隊対峙」

日台間は、今回の尖閣諸島問題を通し、さまざまなことを学んだ。政治的には、大きな潮流の潮目にあることを感じた。一方で、経済面に眼を向けると台湾無店舗販売市場が伸びている。したたかに商売をしている日本人と台湾人もいるのだ。

題名は、6月16日の台湾のニュース番組で流されたトップニュースのタイトル。日本が主権を持つ尖閣諸島にて、6月10日に海上保安庁が台湾漁船を沈没させた事件である。日本と台湾がここまで緊張したことは、近年記憶にない。

私は、事件が発生した時点で、大きな問題発展すると警告した。当初、台湾では大きなニュースにはならなかった。しかし6月15日ごろから突如マスコミ操作が始まり、ほぼ全てのニュース局のニュースが、この問題を報道し始めた。台湾側も弱腰に対応している外交部を突き上げ、フリゲート艦の準備、交流協会(日本大使館)前の抗議活動、挙句にTVニュースで「小日本」発言、台湾メディアは、日台親善に功労のあった台湾駐日許代表を親日派と罵る。そして代表召還へと急速に対日関係が悪化した。親日台湾人も、さすがに24時間流されるテレビニュース報道に洗脳され反日の動きが民衆レベルで急激に広がった。民衆とは、こういうものか…。突然の潮流の変化に戸惑いと恐怖感を感じた。こういう状況下、6月16日に台湾民間船が台湾の海上保安庁とともに尖閣諸島へ向かったのだ。翌日は、台湾が軍艦を派遣するとの発表もあった。戦闘行為になるかもしれない。ニュースでは、中国大陸も支援を表明。そして、冒頭のタイトルをテレビ局が流したのだ。



先日、お会いした李登輝元総統

■日本人の知らない事実

それにしても平和ボケした日本。NHKを見ていると緊迫したニュースがまったくない。日本人に緊張感が無いのが恐ろしくなった。台湾のテレビニュースにて「ごめんなさい、魚釣島は台湾のものです。日本人が悪いのに謝らないのは、おかしいです。賠償するべきです。」この日本人観光客の発言を台湾テレビは、日本人だって自分が悪いことを知っている、とまで報道。台湾側もブレーキがかからない。政治問題から世論主導へ暴走開始を感じた瞬間だ。この時点で台湾を代表する知識層と意見交換したが見方は冷静。しかし一方では私にメッセージが続々と飛び込む。いざというとき自分の家に逃げきなさい、と。台湾人は暖かく心配してくれた。まだ安心感があつたが念のため緊急帰国予約を手配。池田代表のホットラインによる台湾艦隊派遣撤回要請が無ければ、武力衝突に発展していた可能性も否定できない状況だった。事実、台湾の日本大使館にあたる交流協会より「会社、家庭で非常時に対する準備をしてください。」との

メッセージも6月18日に出るに到った。この事実をほとんどの日本人は、知らない。

■信頼できる人脈を作ることが鍵

今回の決着として、日本側は、あらためて日本の主権を主張。一方で、台湾漁船船長宅へ謝罪を入れ、漁船、漁具の保障と生活保障をすることを表明。一気に問題が沈静化した。日本と台湾の堅い絆があることを確認したのも事実だが、日本の海上保安庁の現場の士気、そして保障には、疑問が残る結果ともなった。この玉虫色決着で、台湾側の潮目がはっきりした。7月からは中国大陸から100万人の旅行客が来る。日本は、ならずもの、中国大陸人は、真の心が通じ合う同じ民族。そういう構図をメディア操作し始めたことが気になる。今回の結末に台湾メディアは、なんと発表したか。「台湾民衆が団結し、日本政府に対し声を大きく要求すれば日本は屈服する。」過去、どこかで何度も聞いたことがある。日台で正確なコミュニケーションができるのは、ご年配層しかない事実。日台は、実務派レベルでコミュニケーションできない時代に突入したのだ。

地政学的リスクは、どこにでもあることが、今回の教訓。しかし現段階では、台湾進出に対して恐れることはないと断言したい。台湾中南部では、まったくそうした動きがなかったと政府要人が直接教えてくれた。また経済上でも、非買運動に発展するようなことは無かった。しっかりと日台間で実務派レベルのコミュニケーションをすれば、他国に比べて安全性が、きわめて高いと見る。中国大陸とのダイレクトなパイプができることで消費意欲が高まる可能性もある。日台で個人的に信頼できる人脈、商売のパイプを作ることが、ますます成功の鍵となる。

■台湾の無店舗販売が熱い

最近、日本人の若者が設立した会社の顧問を始めた。台湾の無店舗販売市場に売りたいという。またある台湾友人は、日本と合弁で美容品ネットワークビジネス会社を設立。先週の台湾オープンパーティーに



600人、60卓近い会社設立パーティー

は、日本から400人、台湾側も200人と大規模なものであった。台湾では、全販売市場規模が7兆円。うち無店舗販売が、2004年の2000億円から、昨年は、7000億円規模に達したという。台湾テレビショッピングでは、momo台が新たに2チャンネル開始。台湾楽天は、現段階で苦戦している。しかし視点は面白い。鳥取県では、無店舗販売市場にチャレンジされる方が、いらっしやらない。新しい無店舗市場にも眼を向けていただきたいと思います。

最新上海 ～現地レポート～ ④

高騰する原油の影響と環境対策

世界各国で原油高騰が騒がれている。中国も同様、大きく影響が広がっている。7月1日から国内航空便の燃料費も増額となり、日常生活への影響が気になる。今月は原油高騰と併せて、関連性の大きい環境関連について紹介する。

■原油高騰の影響

中国では、カーナンバーのプレートは購入することになっている。国家公安部以下の組織内車輛管理事務所によって発行されているが、ラッキーナンバーと言われる6、8、9などを獲得するため、旧システム下では社会的な問題も発生した。新システムとなった今は、管理事務所内のコンピューターによって決定されている。上海では、年々深刻化する交通渋滞のため、限られた数のナンバープレートを毎月1回オークションによって購入するシステムになっている。



上海市内の渋滞状況

しかしこのオークションも最近の原油高騰で様子が変わっている。6月下旬に行われた上海のオークションでは、前月と比べると、落札価格が下がっている。平均落札価格は34,947元（≒540,000円、前月比1,000元強ダウン）、最低落札価格が33,900元（≒525,000円、前月比500元ダウン）で終わっている。昨年10月には5万元（≒775,000円）を超える落札価格を記録しましたが、原油価格高騰の今ではオークション参加者も減少している。ちなみに6月の参加者は21,208人（うち落札数は7,700件）であり、ピーク時のデータと比べると約1/3の参加者だということだ。

また、5月の中古車市場取引量は、前月4月より7%少ない2万台弱で、取引の多い中古車の価格帯も10万～15万元台が50%以上だったと伝えられている。車種に関しても原油価格高騰の影響で省エネタイプの自動車が多くなっているとのことだ。

■期待される環境対策

原油高騰での自動車市場への影響が気になりつつも、一方でガソリン車による環境への影響も懸念され、矛盾

を感じたりもする。

上海では1900年代初期から『トロリーバス（無軌条電車）』が走っているが、そのトロリーバスが一部路線で新型電気自動車に変わった。トロリーポールの代わりに、車体に大型電池を搭載し、ゼロ排出、低燃費のバスが走っている。毎日1度の充電で、250kmの走行が可能と言われており、エコカーの一つとして更なる普及が期待されている。



上海市内中心部を走るトロリーバス

また2010年に開催される上海万博だが、万博会場内および周辺のパス路線の車輛はゼロ排出車輛とすることを決定している。このうち40台はハイブリッド型バスであり、博覧会会場内で使用するということだ。

ちなみに開催まで1ヶ月を切った北京オリンピックだが、北京オリンピック組織委員会は、50台のリチウム電池バスを運動場と一般道路の間で使用することと、北京市内公共交通路線をすべてヨーロッパ排出基準以上のものを使用とすることも決定している。

■外資系企業への優遇税制

今年の北京オリンピックや上海万博開催時の環境保護への取り組みなどから見ても、2008年は中国の環境保護に関して、大変重要な1年になるのではないかと思う。さまざまな法整備が重ねられる中、水質汚染を引き起こした企業への罰則について定められている『水質汚染防止法』改訂版もすでに公布されている。

外資系企業に対する政策も改訂されている。今年1月1日より企業所得税法が改正され、環境保護・省エネ節水（公共汚水処理、公共ごみ処理、省エネ・排ガス削減技術改造など）に対しては、優遇税制を受けることができると規定されている。『3免3減』という税制で、利益が発生した第1年目から第3年目まで企業所得税を免除、第4年目から第6年目までを半減できるという優遇策だ。旧企業所得税法の外資系製造企業に対する『2免3減』などの優遇税制を廃止し、代わりに環境保護産業、ほかハイテクに力を入れていくという方向に中国政府は確実に舵を切った。

<次ページへ続く>

身近な環境対策として、先月6月1日より買い物袋が有料配布となった。市内外資系デパートでは0.2元～0.5元（≒3.1円～7.8円）の間で袋が販売されており、またエコバッグの販売も行っている。上海市内日系企業にお勤めしている現地上海人主婦Gさんにこの買い物袋の有料化について、話を伺ってみた。

- ①買い物袋の有料化について、どう感じているか？
⇒不便ではあるが、将来子供のことを考えると仕方ないことだと思っている。
- ②現在買い物袋の代用品として何を使っているか？
⇒6月1日からの施行に合わせて住民地域の自治体からもらったエコバッグを利用している。
- ③買い物袋は家庭用ゴミ袋として利用されているケースが多いと思うが、現在ゴミ袋はどうしているのか？
⇒今は以前もらった買い物袋を利用しているが、使い切れば買わざるを得ない。

ほか現地主婦数名に話を聞いてみたが、面倒とは言いながらも仕方ないと考えているようだ。仕方ないと感じる人もいるが、この取り組みを個人的には楽しみながらできるものだと思う。上海で働くOLの話によると、各百貨店やカフェなどが独自にエコバッグをデザイン・販売しており、彼女自身そのようなエコバッグを使っているそうだ。お気に入りのエコバッグを持って買い物をするのも一つの楽しみと言う。この小さな喜びや楽しみが、環境保護に大きく繋がっていくことを期待せずにはいられない。（文書中、1元=15.5円で計算）

-お知らせ-

㈱チャイナワークは、上海で行われる「第8回世界閉鎖性海域環境保全会議」への参加企業の募集を支援しています。詳しくは以下をご覧ください。

http://www.chugoku.meti.go.jp/event/kankyo_recycle/h200627.htm

【㈱チャイナワーク 孫】

中国長春からの便り

中国の風習から日本をおもう

■縁起をかつぐ

中国での日常生活の中で縁起をかつぐなあ、と思うことがよくある。例えば、数字の“8（バー）”はその発音が“発財”（ファーツァイ。金持ちになる、の意）の“発（ファー）”に近いことからとても好まれている。同じように、“7（チー）”は“起”（チー。何かをはじめる、事をおこす、の意）、“9（ジュウ）”は“永久”（ヨンジュウ。永久に、末永く、の意）の“久（ジュウ）”にかけられ好まれる数の一つだ。これに対して、“4（スー）”は“死（スー）”にかけられ一般には好まれていない。

5月、6月は結婚式が多く、何回か婚礼の場に出くわした。ある婚礼の開始時間は10時28分、別の婚礼では10時58分だった。10時半や11時とせず、最後に8がつく時間に開始することが多いようだ。北京オリンピックの開会日時も8がならんでいる。

数字に限らず縁起担ぎは非常に多く、“福到了（フダオラ。意味：福の到来）”の“到（ダオ）”と“倒（ダオ。意味：ひっくり返る）”の発音にかけて、逆さに表示した“福”という字もよく見かける。また、かけ（置き）時計の発音が“終わり”という意味の語の発音と同じであることから、老人に時計を贈るのは厳禁だ。

考えてみると日本でも縁起にまつわる風習は多く、八は末広がりめでたい意に用いられているし、4は死を連想させることからある場面では適当ではない。ほか、入院見舞いに鉢植えの花（根付くと寝付く）、贈り物に櫛（苦死を連想）は好まれない等。

6月8日は旧暦の5月5日にあたり端午の節句で、友人から手作りのちまきをいただいた。日本でもやはりちまきを食べるが、中国でのこの習慣は戦国時代の詩人にちなんだものだ。近年は手作りのちまきでなく、市場で買っ

てくる家族も多いとのこと。ちまきには餡子や肉、ナツメを入れたもの等たくさんの種類がある。いただいたものにはナツメ、干しぶどう、ピーナツが入っており、とても美味しかった。

先日の七夕だが（中国では旧暦の7月7日）、日本の七夕は奈良時代に中国の習俗が伝来し、古来の伝説と結びついて今に至っている。

長春に来て、婦人の日、清明節（墓参の日）、May Day、こどもの日等を経験した。こどもの日は朝6時から動植物園にジョギングに出かけた。6時半までは入園料がいらないこともあり、早朝にもかかわらず既に多くの家族が来ていました。園内は動植物のほかちょっとした遊園地もあるのでとてもにぎやかだ。孫の手を引く祖父母や子どもを遊具に乗せる両親を見ていると何だか懐かしい気分になった。こういった特別な日にはいつもとは違った中国の今を垣間見ることができる。また、しぜんと日本の暮らしをおもい、中国との共通点の多さに気づかされる。次の祝日が楽しみである。



長春市内の様子

中国・台湾食品市場セミナーのご案内

当財団では、平成20年4月より中国上海にコーディネーターを配置し、上海を中心とした華東地域、更に、華南地域等における販路開拓に注力しています。そこで、この度は県内企業の皆様に華東地域を中心とした食品関連の最新情報を提供し、地域ブランド売り込み戦略構築について考えていただくため、本セミナーを開催することとなりました。あわせて、台湾の食品市場開拓についても、実際に現地で展示会に出展し販路開拓を行った経験を持つ県内企業の方々に体験談をお話しいただく予定です。

皆様万障繰り合わせの上、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

日 時：2008年8月7日（木）14：30～17：00

場 所：鳥取県西部総合事務所 第13会議室（米子市鞆町1丁目160）

テーマ：第一部 ・中国食品セミナー「上海の食品貿易事情」（仮題）（14：30～15：35）

講師 ㈱チャイナ・ワーク 代表取締役社長 孫 光 氏

（平成20年度（財）鳥取県産業振興機構 上海コーディネーター）

・「食のみやこ鳥取県in上海」（見本市、商談会）出展のご案内

第二部 台湾食品市場販路開拓について（15：45～17：00）

①当財団よりFOOD TAIPEI 出展結果報告

②台湾食品市場について（ジェットロ貿易相談デスク 黒住アドバイザー）

③出展企業の販路開拓体験談

参加費：無料

募集人員：50名程度

主 催：財団法人鳥取県産業振興機構

協 力：とっとり貿易支援センター

申込方法：下記URLの参加申込書で、8月1日（金）までにファクシミリにてお申込み下さい。

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/dispatch.cgi?num=20080708153742>

問合せ先：（財）鳥取県産業振興機構海外支援グループ（担当：早川、中江）

電話0857-52-6703 FAX：0857-52-6782

【（財）鳥取県産業振興機構海外支援グループ 早川】



上海に連立するビル

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。夏と言えば旅行シーズンです。旅行には行きたいけどまだ予定を立てていない方、世界遺産巡りはいかがでしょうか。世界遺産国別登録数を見てみると、1位はイタリアで41箇所、2位はスペインで40箇所、3位は中国で35箇所、以下、ドイツ31箇所、フランス30箇所、イギリス27箇所と圧倒的にヨーロッパが多いようです。

しかし、原油高騰に伴って燃油サーチャージが値上げしており、7月ヨーロッパ往復直行便航空券にかかる燃油サーチャージを56,000円徴収する航空会社もあるようです。この燃油サーチャージは航空会社ごとに違うので、事前によく調べてお得な航空会社を選んだほうがよいでしょう。気をつけないと、旅行代金だけ見て安いと判断したが、総額は倍以上かかっていた、ということもあり得ます。【r】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp

TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782

とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■（財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ

TEL 0857-52-6703

■ジェットロ鳥取貿易情報センター

TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■㈱さかいみなと貿易センター

TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会

TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局

TEL 0859-42-3705

■ジェットロ貿易相談デスク

TEL 0859-45-2203